

Q1

青森県職員になって
よかったですか？

94%

- ◆ 職員同士(主に同期)との交流が活発で相談しやすい。
- ◆ 服装が堅苦しくないので自分に合っている。
- ◆ 青森県について少しずつ詳しくなれる。
- ◆ 研修制度などが多く用意されていて、やる気があれば自由に組みむことができる。

新採用 職員の 本音

回答数
135人

令和6年度新採用職員の
アンケートを集計しました！

%は、「そう思う」「まあそう思う」割合です。

Q6

仕事をする上で心掛けてい
ることはありますか？

- ◆ 1年目は特にひとりでは解決できないことが多いので、素早く上司に報告・連絡・相談をして業務をできるように心掛けている。
- ◆ 一つ一つの業務を、自分で第三者に説明できるかを意識しながら行っている。
- ◆ 誰に対しても謙虚で思いやりを持つこと。
- ◆ 自分の業務以外の話題についても耳を傾けるように心掛けている。

Q2

今の仕事にやりがい
を感じていますか？

85%

- ◆ 県庁が何をしているか様々な角度から知ることができて面白い、裏方から支えている感じがする。
- ◆ 研修と上司のお陰で、できなかったことができるようになるのが楽しい。
- ◆ 法令や規則など覚えたり学んだりしたものを実際に活用できた際に、自分の成長を感じる。

Q4

上司・同僚に相談しやす
い環境だと思いますか？

96%

- ◆ 雑談もしてくれるので話しやすい。
- ◆ 新採用職員にはトレーナーが付く点が良い。
- ◆ よくコミュニケーションをとっているため、何らかの問題が生じた場合でも、「まず相談しよう」と思える。



- ◆ 市町村職員に比べ、県民と接する機会が少ないですが、広く県全体・県民に影響を与える業務が多くなります。責任の大きさも感じますが、同時に得られるやりがいや達成感も大きくなります。ぜひ県職員として、県民のための業務に携わっていきましょう。
- ◆ 接客業等で目上の人と話し慣れていると面接は緊張しませんが！グループワークは知識もあると考えの幅が広がるので「まるごと青森」の公式アカウントとかフォローしてなんとなく青森のことを知っておいた方がいいと思います！
- ◆ 時代の変化とともに県民から求められる公務員像も変化しています。青森の現状を把握し、県庁で何をしたいかを具体的にイメージすることが、試験対策のモチベーション維持にもつながってくると思います。試験対策は大変ですが、応援しています！
- ◆ 学校で学んだことでも、部活での経験でも、友人とのくだらない会話でも、ふらっと出かけた旅行先でのコマでも、仕事をしていく中で困難を打ち破るきっかけになります。未来の自分を助けてくれる経験がどこに転がっているかわかりませんが、勉強ももちろん大事ですが、大きいことでも小さいことでもインドアでもアウトドアでも、様々なことに触れてみることをオススメします！

Q3

県職員になって、イメージと
違ったことはありませんか？

- ◆ 仕事や休暇に対してメリハリがあること。
- ◆ 堅苦しいイメージがあったが、入ってみると和気あいあいと仕事をしていたこと。
- ◆ 勤務する前にイメージしていたよりも柔軟な対応（仕事や服装など全てにおいて）ができること。
- ◆ 事務だけでなく、イベントの開催や広報媒体への出演など、業務が多岐にわたること。

Q5

ワークライフバランス
(仕事と生活の調和)が
実現できていると思いますか？

91%

- ◆ 水曜日や金曜日は定時に帰宅する人も多く、自分も休みやすい。
- ◆ 家に帰って、ゆっくりお風呂につかり、食べたいものを作る時間があり、日付が変わる前に睡眠がとれる。休みは毎週2日以上で、好きなところに行ける、というだけでワークライフバランスは十分すぎると感じる。
- ◆ 自分の趣味も仕事も成り立っている。



採用試験に関するQ&Aはこちらから